



行動経済学会ポスター報告奨励賞

(2019年11月9日・10日開催 第13回大会)

行動経済学会では2010年大会より、行動経済学研究の発展と若手研究者の育成・顕彰を目的として「行動経済学会奨励賞」を設け、さらに2017年大会より、ポスター報告も対象として「行動経済学会ポスター報告奨励賞(一般部門)」と「行動経済学会ポスター報告奨励賞(学部生部門)」を設けました。

一般部門13件と、学部生部門13件を厳正に審査した結果、今回は以下の通り、一般部門は、佐々木周作(京都大学)、学部生部門は近藤みなみ(近畿大学)、Lek Hong(慶応義塾大学)、宮前冠汰(公立はこだて未来大学)、に決定しましたので、ご報告申し上げます。

学部生部門の授賞式は第13回大会で執り行われました。

なお、一般部門の授賞式は次期大会で執り行う予定です。

【行動経済学会ポスター報告奨励賞(一般部門)受賞者】

受賞者：佐々木 周作 (京都大学)

報告論文：寄付金控除とマッチング寄付の比較：日本の寄付税制の行動経済学的実験研究

共著者：黒川 博文 (兵庫県立大学) ,
大竹 文雄 (大阪大学)

【行動経済学会ポスター報告奨励賞(学部生部門)受賞者】

受賞者：近藤 みなみ (近畿大学)

報告論文：大学生はどのように就職先を選んでいるか？

選択型コンジョイント分析による考察

共著者：松村 佳奈 (近畿大学) ,
田中 美月 (近畿大学)

受賞者：Lek Hong（慶応義塾大学）

報告論文：Convenience Conundrums: A Study of Choice Architecture and
Social Norms on a Japanese university campus

共著者：Mika Kunieda（慶応義塾大学）

受賞者：宮前 冠汰（公立ほこだて未来大学）

報告論文：カスタマーリワード・プログラムの消費者選択に与える効果の比較
研究

